

Q：中国では観測機器での観測の他、動物や地下水、電磁現象での観測を組織的に  
行っていると聞いたことがあります？

A：大地震の前に家畜や小鳥、その他異常な行動があったり、鯰がどうしたとか言いま  
すが、そういう事例は関東大震災の時も大分あったようです。

中国では住民による観察のことを「宏観異常現象」と言います。

大地震の直前に見られる宏観異常現象の種類は多く、例としてネズミが多数駆け回った  
り、犬が狂ったように吠えたり、鶏が異常に騒いだり、冬眠中の動物が雪原に出て死んだ  
り、地下水が溢れ出る、反対に井戸が涸れる、電磁現象が起き、電光が走る、異常な雲が  
現われる。

中国では、これらの宏観異常現象を組織的に観測し、臨震予報として公表した。

1975年2月4日の海城地震(M7.3)は、臨震予報が成功し、犠牲者をださなかったと、  
大々的に報じたが、1976年7月28日の唐山地震では死者24万人、重傷者16万人という  
世界最大規模の犠牲者としているが実際は更に多いらしい。これは当時紅衛兵騒動で正確  
な調査が出来なかったことによる。続いて2008年5月12日文川(四川)地震で死者8万  
人をだしたが、臨震予報は公表されなかった。



#### 宏観異常現象の種類

##### (動物の異常行動)

- \* ネズミが電線を走る。
- \* 犬が異常な吠えかたをする
- \* 冬眠中の動物が雪原に飛び出し死ぬ

##### (地下水)

- \* 枯渇する、または溢れ出す
- \* 井戸水が濁る、味が変わる

#### 鯰が暴れる？

瓢箪鯰 = ヌルヌルした鯰を丸い瓢箪で抑える。

抑えられない 不安定 地震(江戸時代の発想)

##### (電磁気現象)

- \* 無線の通信障害
- \* 電気器具の誤作動
- \* 発光現象
- \* 発火現象



地震雲の発生